

# 「H29 教育活動評価結果」の考察

## 1 学校運営について

### (1) 調理科

- ・保護者の立場ではおおよそ理解を得ていると思う。生徒の理解も増えるよう指導の工夫をしていきたい。

### (2) 介護福祉科（介護福祉士養成コース・介護員養成コース）

- ・7項目中6項目で、生徒よりも保護者の方が好印象を抱いている。「⑤いじめ暴力の根絶」の項目は、こどもが学校で置かれている環境・友人関係について、保護者が多少の不安を抱いているのではないかとと思われる。

### (3) 普通科 情報表現コース

- ・生徒、保護者の「⑥相談・助言」と「⑦学校への満足度」が高かった。個別対応やコースの取組についての評価と考えられるので、さらに充実するよう努めたい。

### (4) 普通科 デザインアートコース

- ・「⑦学校への満足度」が生徒・保護者とも高い。コースの行事等に積極的に参加しているからだとと思われる。

### (5) 普通科 総合コース

- ・全体的な傾向は大きくは変わらないが、いくつか全体と違う項目がある。「②学校の通信便り」については、全体と比べて保護者の評価がやや高い。やはり学校の様子を知りたがっている保護者が多く、コース通信やクラス通信を読んでいるためだと思う。また各クラスにおいて精力的にクラス通信を発行していることも関係していると思われる。ただし生徒の関心が低く、自分で読まずにそのまま家庭に持ち帰っているのかもしれない。
- ・「③学習環境の整備」の生徒の評価が全体より低いのが気にかかる。
- ・「④安全安心の意識」の保護者の評価が全体より高い。信頼関係が高いと思われる。
- ・「⑥相談・助言」の「少し当てはまる」が保護者の割合が全体より比較的高い。電話連絡や保護者面談を多く実施して、生徒理解を重視していることの表れだと思われる。
- ・「⑦学校への満足度」の「当てはまる」の保護者の評価が全体よりかなり高い。入学させて良かったと思っている保護者が多いと思われる。

### (6) 普通科 健康スポーツコース

- ・全体的に学校への理解は生徒・保護者共に上向きになっている。県外生徒も多い中、昨年度より評価が良かったのは、担任の動きが良かったからだと言える。今後も生徒・保護者・教員のトライアングルを大切に、保護者と連絡を密にとりながら生徒の成長に繋げていきたい。

### (7) 募集業務部

- ・学校スローガン実現に向けての取組意識はここ数年、高い数値で推移している。特に、生徒の意識向上がみられた。さらに向上できたらと考える。「②学校からの通信」については生徒・保護者からの評価が昨年度より高くなった。昨年7月に学校ホームページがリニューアルし、これまで以上に情報発信することが可能になったことがあるのではないかとと思われる。

- ・「⑤いじめ、暴力の根絶」「⑥相談・助言」の両項目で教職員の数値が昨年より低くなった。昨今の社会問題にもなっており、保護者の協力も得ながら教育相談や面談等をタイミングよく行っていく必要があると思う。「目と手をかける学校」「面倒見のよい学校」としてこれからも社会に評価される学校を目指していきたい。

#### (8) 進路指導部

- ・昨年度と比較すると良い評価を得ており、目指す学校像や教育活動内容を理解してもらえているようだ。「入学させて良かった」と8割強の保護者が感じているが、「当てはまる」の回答をさらに増やし、教職員の割合と同程度になる工夫をしていきたい。

#### (9) 生活指導部

- ・「⑤いじめ・暴力の根絶」について  
保護者の理解度が生徒よりも20%程度低い(H28は誤差10%)。また、「わからない」との回答も25%程度(昨年比+5%)ある。保護者の「いじめ」に対する不安の表れと言える。生徒だけでなく、保護者にも安全・安心を発信できるように対応の必要がある。

#### (10) 総務部

- ・「④安全安心の意識」について  
アンケート結果は以下の通りとなった。  
生徒→60%の生徒が「A当てはまる」「B少し当てはまる」と回答  
25%の生徒が「Cあまり当てはまらない」と回答  
15%の生徒が「D当てはまらない」「Eわからない」と回答  
保護者→75%の保護者が「A当てはまる」「B少し当てはまる」と回答  
10%の保護者が「Cあまり当てはまらない」と回答  
15%の保護者が「D当てはまらない」「Eわからない」と回答  
教職員→90%の教職員が「A当てはまる」「B少し当てはまる」と回答 (H28:75%)  
8%の教職員が「Cあまり当てはまらない」と回答。 (H28:5%)  
2%の教職員が「D当てはまらない」「Eわからない」と回答 (H28:20%)  
教職員の意識にかなりの変化がみられた。北朝鮮のミサイル発射により新たな事態が増えたことによるものと考えられる。また、教員研修会で「ファーストエイド講習」を行ったことも一因と考えられる。生徒および保護者に関しては、昨年度とほぼ同様の回答となっている。震災から月日が経つにつれてそれぞれの意識が薄れていくことが推測される。
- ・(まとめ) 個人や家庭または地域など災害に対する意識や備えの再確認を毎年行うことが必要と感じる。学校として、災害発生時の体制が整ったので、細かな部分について協議し調整していくことが今後の課題と考える。

#### (11) 保健厚生係

- ・「③学習環境の整備」について  
生徒全体では、約半数が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答している。うち、デザインコース・健康スポーツコースが全体平均を上回っている。生徒については、学習環境のうち清掃面のみではなく、施設面での評価も含まれているのではないと思われる。保護者については70%以上が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答している。生徒保護者とも数字は昨年とほぼ同様である。

・「⑤いじめ・暴力の根絶」について

生徒全体では、約78.2%が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答している。デザインと健康スポーツが10%ほど全体平均を上回っている。保護者全体では、「当てはまる」「少し当てはまる」と回答した割合が約60%と生徒の回答を下回っている。この傾向は、一昨年・昨年と同じである。親子の間に会話が少ないのではないかと思われる。教員は、96.1%が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答しており、いじめ・暴力に対して毅然とした対応を行っていることが伺える。

・「⑥相談・助言」について

生徒全体では、約48.9%が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答している。昨年比約5%上回っている。学校以外のところで相談助言を求めているのではないか。保護者全体では、約80%が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答し、昨年比で約10%増加している。教員は、88.5%が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答しており、意識のずれが生じている。

## 2 四つの重点目標について

### (1) 調理科

・「⑩定期考査の取組」に対して保護者と生徒の考えが違うので、家庭学習等での取組の姿勢を分かってもらえるように指導していきたい。

### (2) 介護福祉科（介護福祉士養成コース・介護員養成コース）

・科の特性である「⑫検定・資格取得」については、生徒40%に対し保護者は80%と高い評価となっており、生徒よりも保護者の思いが強くて入学しているケースも考えられる。また、実習が多いことから、キャリア教育がなされているとの評価も高くなったと考えられる。

### (3) 普通科 情報表現コース

・生徒、保護者の「⑬キャリア教育」がやや高く、「⑯生活マナー向上」「⑰部活動の環境整備」がやや低かった。これは、生徒の実態、コースの特性に沿った結果といえる。

### (4) 普通科 デザインアートコース

・「⑧分かりやすい授業内容」「⑫検定・資格取得」「⑬キャリア教育」の生徒・保護者の評価が全体よりも高く、専門科目が充実しているコースの特性を表していると言える。上級の検定について、全員が受けることに疑問を感じるという声も聞かれるが、今年度は特に努力の成果が表れたこともあり、適切な指導が必要であると感じた。

・「⑭進路指導」の保護者の評価が低く出ている。これは、希望の進路先の決定になかなか結びつかない生徒が多いことが影響していると思われる。

### (5) 普通科 総合コース

・全体集計より「当てはまる・少し当てはまる」の割合がやや少ない項目がいくつかある。特に生徒の「⑪主体的・能動的な学習」割合が全体より低い。そもそも勉強が嫌いな生徒が多く、授業に対する意識づけがより一層求められているのかもしれない。

・各種検定資格は全体とほぼ同様の結果であるが、コースの特徴からするともっと自覚を持ってほしいところであり、啓蒙活動をより強化する必要がある。生徒の「⑰校内ルールの遵守」の「当てはまる・少し当てはまる」は全体より低い。自覚はしているようだ。

・部活動に対しての意識はやや低い。活動人数が少ないためであろう。

## (6) 普通科 健康スポーツコース

- ・昨年度と同等の評価だった。着目したいのは、「⑱部活動の活発化」で生徒の「当てはまる」が昨年度よりも低くなっている点であり、保護者と同等の評価になってしまった。生徒達は何かを感じているのではないかと推測される。「㉑部活動の環境整備」については、昨年度は保護者からの評価が高かったが、今年は生徒と保護者の評価が逆転し、尚かつ60%以上の評価をしてもらった。

## (7) 募集業務部

- ・「⑧わかりやすい授業内容」への満足度は、生徒・保護者・教職員とも数年間高い数値で推移している。定期考査前に校内で自学自習する光景がよく見られるようになり、よい傾向であるので、引き続き基礎・基本を中心としたわかりやすい授業の展開を心がけたい。「⑨学ぶ姿勢」「⑩定期考査の取組」「⑫検定・資格取得」については、保護者・教職員に対して生徒自身は改善の余地ありと考えているようであることから、学びの期待に応えられる環境整備を行っていく必要を感じる。生活面では教職員の熱心な取組に理解を示す回答が多く、今後も一丸となって指導を継続するとよい。

## (8) 教務部

- ・「⑧分かりやすい授業内容」について  
生徒と教員の感じ方にギャップがあり、保護者と教員の満足度が近い値になっているのは昨年と同様である。家庭での話、学校からの通信、成績表など多角的にみて、保護者からの一定の理解が得られているのは喜ばしいことだ。しかしながら「授業が分かりやすい」と感じている生徒が30%弱というのは非常に低い数字であり、授業改善が喫緊の課題である。毎年授業力の向上のため互見授業、研究授業等を実施しているが、その内容を教科で深め、日常的に実践し学校全体で共有する機会を持ちたい。
- ・「⑨学ぶ姿勢・落ち着いた学習環境」について  
「当てはまる」と強く肯定する生徒が20%弱、「少し当てはまる」と弱い肯定まで含めて60%弱という数字は、全体的に見て「できていない」と考えざるを得ない。少数の授業規律を乱す生徒を根気強く指導する姿勢が求められる。授業中の問題行動について教科担当者から「学習状況報告書」が提出された場合、授業観察を行い担当者と情報を共有し、改善策を探っている。学習状況報告書提出件数は昨年に比べて減少しているが、真面目に取り組もうとする大部分の生徒が安心して授業に集中できる環境を整えなくてはならない。学ぶ姿勢の根底には基本的な生活態度があり、日常的な学校生活のルールへの遵守という観点から、生活指導部との連携、家庭からの協力が必須であり、さらには学校全体で取り組む重要な問題と考えている。
- ・「⑩主体的・能動的な学習」について  
生徒は昨年よりも主体的、能動的学習の満足度が上がっている一方で、教員の満足度は昨年より下がっている。教員が授業について現状に満足することなく、新たな手法を探ろうと前向きに考えているととれる。実際授業手法について教員間で話し合っている姿をよく見かけるようになった。ペアワーク等により、生徒が自ら考え、学びあい、答えを導き出す能動的な学習、さらにICTの活用は一定の効果があるということは各種調査で明らかであることから、ぜひこの動きを促進したい。

### (9) 進路指導部

- ・学校としての企業努力を保護者が感じているものの、生徒から良い回答を得られていないのは問題である。生徒には、検定や資格取得の重要性について説き、積極的に取り組むように指導していきたい。

### (10) 生徒指導部

- ・部活動について、今年度はインターハイが南東北3県で、全国総文祭が宮城県で行われ、本校から運動部3団体、文化部2団体が出場・出演した。特に女子サッカーが出場した際には生徒・教職員・保護者など総勢250名ほどの応援参加があり、1回戦突破に大きな力となった。また、毎週木曜日に「部活動の日」を設定しており、加入率はここ数年8割前後を維持している。部活動を通じてリーダーの養成を取り組んでいきたい。また、部活動は科コースの枠を超えての仲間意識を高める重要な場と考えている。

### (11) 生活指導部

- ・「⑮無遅刻・定時着席」について  
生徒の達成度は45%(昨年比+5%)。一方で保護者の75%が「遅刻・定時着席」は出来ているものと理解している。3割の差異は非常に大きく、学校での生活が十分に保護者へ伝えられていないことが考えられる。遅刻の早期対応により、生徒・保護者ともに自己評価の率が上がるのではないかと考える。
- ・「⑰校内ルールの遵守」について  
校内ルールを遵守できていないと回答した生徒が25%程度いる(昨年比同等)。生徒の1/4がルールについて遵守しきれていないことになる。非常に重い数字として捉え、改善に向けて努力する必要がある。

## 3 学校諸活動について

### (1) 調理科

- ・興味関心の高いものと低いものとの差があるが、全てにしっかりと取り組む姿勢は定着させたい。

### (2) 介護福祉科（介護福祉士養成コース・介護員養成コース）

- ・学校行事以上に、科の行事、ボランティア活動の評価が、生徒・保護者ともに高い。今年度、積極的に科の行事を開催した結果であると言える。

### (3) 普通科 情報表現コース

- ・全体的に生徒の評価が低い傾向にある。各行事へのはたらきかけを徹底し、より積極的に諸活動に取り組ませていきたい。

### (4) 普通科 デザインアートコース

- ・「⑳コース行事・修学旅行」の評価が、全体の数値より高くなっている。これは、ファッションショーや修学旅行などコース行事への満足度が全体的に高いからだと思われる。今年度は校外でのファッションショーも経験したことで、更に満足度が高まったようだ。

#### (5) 普通科 総合コース

- ・全体集計より「当てはまる・少し当てはまる」の割合がやや少ない項目がいくつかある。特に行事関係の「当てはまる・少し当てはまる」が全体よりやや低いのは「もっと積極的に参加しなければ」という自分への反省があるのかもしれない。

#### (6) 普通科 健康スポーツコース

- ・大会等で学校行事に参加できない生徒が多くいるため、「㊸学園祭・体育祭」の部分では低い評価になっている。それ以外は平均して50%近い評価をしてもらった。部活動以外でもクラス内での活動が有意義なものになっていると考えられる。

#### (7) 募集業務部

- ・合唱とアンサンブルの集いや学園祭等の学校行事、科・コース独自行事など、本校らしい取組を募集の観点でも広く校外にPRするよう努めた。昨年7月の学校ホームページリニューアルでは、科コース・部活動ごとのブログを新設し、各担当教員の協力を得ながらリアルタイムの情報発信を心がけた。今後は、生徒視点での情報発信もできるとよいのではないかと考える。

#### (8) 進路指導部

- ・学校行事や部活動に積極的に参加することは、自己PRの一助ともなり望ましい。漫然と毎日を過ごすのではなく、一つでも「高校生活で頑張ったこと」を答えられる生徒を増やしたい。

#### (9) 生徒指導部

- ・「㊸学園祭や体育祭」について、前年度体育祭において生徒間トラブルにより一部競技が中止となったが、今年度はトラブル未然防止に向けての啓蒙や方策を事前に準備したことで問題なく実施できた。学園祭では、文化部のステージ発表を中心に内容の濃いものであった。今後も生徒の声を積極的に取り入れ、一体となって行事に取り組める工夫を凝らしていきたい。
- ・「ボランティア活動参加」については、「できた」と回答した生徒は約6割で東日本大震災から時間が経ち防災意識が薄らいでいると思われる。平成29年度の主な活動実績として、5月「岩沼市千年希望の丘防潮堤植樹」、7月「九州北部豪雨災害募金」、10月「東北こども博覧会（仙台大学等主催）運営ボランティア」があげられる。ボランティア活動を通して奉仕の心を育みたい。

### 4 高大連携について

#### (1) 調理科

- ・進学に対する意識が低い状態で入学する生徒が多いのでこの結果にはなるが、実際に進学する生徒の数は3～4割と増えており、学科の進学に関する指導は浸透している。

#### (2) 介護福祉科（介護福祉士養成コース・介護員養成コース）

- ・科独自で大学施設を利用したことはなかったが、特に保護者の評価が高くなっている。介護福祉科というよりは、部活動等での大学とのつながりを強く感じているのではと思われる。一方で、大学に関する情報が少ないという結果となっているので、生徒・保護者ともに情報提供の工夫が必要である。

#### (3) 普通科 情報表現コース

- ・ダートフィッシュ等の取組を強化しているが、まだ浸透しきれていない。さらに高大連携を意識した活動を推進していきたい。

(4) 普通科 デザインアートコース

- ・全体のデータと大差なく、平均的な状況と言える。

(5) 普通科 健康スポーツコース

- ・「④仙台大の施設利用」に関しては、高大連携をより深めていかなければならないと感じた。授業では仙台大学の先生に授業を行っていただいているが、施設使用となると距離や時間の問題がありなかなか利用が難しい。部活動としても仙台大学との交流は少ない。何か工夫が必要だと感じた。

(6) 募集業務部

- ・明成高校，仙台大学，朴沢学園の三者共同でホームページリニューアルを行い，協議・修正を加えながら昨年12月に完成した。生徒・保護者とも仙台大学との関わりをまだ実感できていないようだが，運動面以外でも交流促進できれば認知度が高まるのではないかと思われる。

(7) 進路指導部

- ・施設利用は運動部の生徒が関わっているが，それも一部である。仙台大学への進学を考えて入学する生徒を対象に，早めに見学会や説明会などを実施してはどうか。自覚を持って高校生活を送れるようになるとよい。

(8) 生徒指導部

- ・4月開催の「新入生研修合宿」では，前年度日程の都合で実現しなかった仙台大学学生によるレクリエーション指導が今年度復活し，1年生は新しい級友との仲間づくりの一助となった。このレクリエーション指導をきっかけに姉妹校である仙台大学への理解，更には大学生活への憧れから進学を意識する生徒も出てくる。
- ・10月開催の「東北子ども博覧会」では仙台大創立50周年記念ということもあり，2日間で例年の倍以上，67名の生徒の参加があった。仙台大学学生とともに出店ブースのお手伝いや子どもの世話中心の活動であり，大学生と一緒に活動することによって，多くのことを学んでいる。休憩時間には仙台大の大学祭を楽しむ姿がみられた。

## 5 家庭生活について

(1) 調理科

- ・中学時まで学力の代わりに「手に職つけて」と刷り込まれ入学する学科のイメージを払拭することで改善されていくと考える。

(2) 介護福祉科（介護福祉士養成コース・介護員養成コース）

- ・「⑥家庭学習の習慣」「⑦基本的な生活習慣」ともに低い評価となっている。家庭生活は学校とは異なり，開放的となって自由に過ごしている結果であると思われる。また，学習については放課後を中心に学校で行う習慣がついている。

(3) 普通科 情報表現コース

- ・全体のデータとほぼ同程度なので，特に基本的な生活習慣については面談等を活用して改善を図りたい。

(4) 普通科 デザインアートコース

- ・全体のデータと大差なく、平均的な状況と言える。

(5) 普通科 総合コース

- ・「㉔基本的な生活習慣」で生徒の「当てはまる・少し当てはまる」が全体集計とさほど差がない。改善傾向にある。ただし、「㉕家庭学習の習慣」に関しては特に保護者が全体集計より低い。学習不足は明らかである。

(6) 普通科 健康スポーツコース

- ・「㉕家庭学習の習慣」の評価が高かった。健康スポーツコースで実施している「自主学習ノート」の取組が定着してきているという評価だと考えられる。今後も続けていきたい。
- ・「㉔基本的な生活習慣」では、部活動があり朝早く夜遅いという不規則な生活を送っている生徒が多いことから、評価が低くなっていると考えられる。

(7) 募集業務部

- ・「㉕家庭学習の習慣」については、教職員の数値は高まったものの、生徒・保護者は昨年とほぼ同様低い数値であった。保護者の協力もいただきながら、家庭学習の習慣を身につけさせ、それぞれの希望進路実現に結びつけたい。

(8) 教務部

- ・「㉕家庭学習の習慣」の定着度は低い。知識の定着には教科からの課題の工夫、家庭での反復練習とが必須であるとする。朝学習の教材利用を推進したい。

(9) 進路指導部

- ・家庭では「まったく勉強しない」という回答は、非常に多い。漢字や計算などの基礎学力を向上させる取組は、履歴書作成や進路決定においても重要なことから必要である。
- ・「㉔基本的な生活習慣」に関する評価が低い点については、家庭と協力しながら、当たり前のことを当たり前に行えるよう指導を続けていかなければならない。

(10) 生活指導部

- ・「㉔基本的な生活習慣」について  
30%の生徒が「当てはまる」「少し当てはまる」に回答(昨年比+5%)。基本的な生活習慣に対する意識の低さが顕著である。「当てはまらない」と回答した生徒も25%程度(昨年比同等)おり、深刻な状況と推察できる。スマートフォンやSNSの問題も関わっているのではないかと考えられる。

(11) 保健厚生係

- ・「㉔基本的な生活習慣」について  
生徒全体では、約30%が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答している。昨年度とほぼ同様の傾向である。このことは、どの科・コースでも同じような傾向である。保護者全体では、約45%が「当てはまる」「少し当てはまる」と回答し、昨年度とほぼ同様の傾向である。



## 6 その他

### (1) 介護福祉科（介護福祉士養成コース・介護員養成コース）

- ・コースの定員確保が厳しい状況が続いていることから、1，2年については合同クラス編成となった。特に2年生については前年度別クラスであったため、生徒・保護者から度々苦情の声が聞かれた（少人数コースの意見が反映されないなど）。介護実習等が行われる介護福祉士養成コースは、連絡事項等も多くあるため、介護員養成コースの生徒は少なからず疎外感を感じていると思われる。積極的に活躍できる場を増やしていけるよう、心がけていきたい。

### (2) 生活指導部

- ・自由記述からの考察（マイナス面の指摘があったもののみ）

#### 【保護者】・部活動に関する疑問や不満，要望（8件）

- ・教員の指導・対応に関する意見（4件）
- ・物が無くなった，戻ってこない（2件）
- ・バス通学者のマナー指導に関するもの（2件）
- ・ネットトラブルに関するもの（1件）
- ・テストの不正に関するもの（1件）

#### 【生徒】・教員の対応に関する不満や改善要望（6件）

- ・テスト内容や授業に関する悩みや意見（6件）
- ・生徒の挨拶に対する教員の対応への不満や改善要望(5件)
- ・学級の雰囲気や授業態度に関するもの（2件）

生徒から「教員の挨拶」について不満が出ていることは重く捉えるべきである。明るい学校づくりのためにも教員から積極的に挨拶し，模範となるべきである。